

泉大津市 視察報告書

市民クラブ 村松 裕美

1. 日時 令和5年7月21日(金) 午前9時～11時
2. 参加者 南出市長、健康こども部健康づくり課 3名 村松裕美、加古川市議 藤原みづえ

3. 内容

① 新型コロナワクチン被害者救済の計画、運営、実施状況

- ・小児接種が申請制になったのは、職員からの要望だった。
- ・職員が主体となり、医師を招き、議会も一緒に学習会を開催したため、危険性を共通認識できた。

・県にもなぜ申請制にするのか、慎重にするのか、市長が説明をした。

・泉大津市は他の自治体に比べて、3回目以降接種率、小児、乳幼児接種率が低い。

(例 6回目 国45.0→泉大津34.9 10～11歳 国3.02→0.08)

・接種券送付方法 65歳以上高齢者→接種券送付 64歳以下→春接種からは申請制
11歳以下→申請制

(ワクチン接種への発信)

- ・市長から市民に随時メッセージを同封したり、動画やHPで伝えている。
- ・HPに「ワクチンの安全性と副反応」のページを作成し、副反応報告数などの最新情報をアップデートしている。

・R5.3.1～「新型コロナ感染およびワクチン接種後の健康状況などを把握するためのアンケート調査」の発信。

・毎月の広報紙に「コロナウイルス感染症関連記事」を掲載。

・その他 市長自身のSNSや勉強会を開催

〈コロナ・ワクチン 副反応支援体制〉

・泉大津市では①相談体制の整備 ②後遺症改善プログラムの実施 ③市独自の健康被害支援金制度 の整備を行い、市民のQOLの向上を目指している。

〈相談実績〉統合医療に知見を持った医師9名により実施。R3,4年は民間事業者の補助金事業。R5年4月からは市の委託事業として一般財源で行う。①オンライン相談 45人 ②保健センター 69人 医療機関 36人

〈後遺症改善プログラムの内容〉

・R3.10月から新型コロナの感染ステージに応じて、個々の状況にあわせた改善プログラムを実施。R3,4年は民間事業者に対し補助金事業、R5.7月からは市の委託事業。財源はふるさと応援基金繰入金。

最初はクラウドファンディングで資金を集めた。

- ・内容 月一回 3～5回/回 実績 19人
- ・統合医療 自然由来のものを用いて自律神経を整え、自己免疫力、自然治癒力の向上、症状の緩和、改善を目指す。
- （感想）呼吸が楽になった、リラックスできた、頭や体がすっきりした、倦怠感がなくなった、首の痛みが軽減、全身がすっきりした。突発性難聴がその場で治ったケースもある。
- ・市内外の方に対応、無料
- ・改善しやすい順としては コロナ後遺症＞ワクチン後遺症＞ワクチン接種後感染後遺症〈支援金について〉
- ・14件の申請がある。
- ・通院、入院、文書費などの健康保険などによる支給額を除く3/4

②泉大津市の健康プログラムについて

- ・〈泉大津市健康づくり推進条例〉があり、未病予防対策に取り組んでいる。
 - ・医者は治療はプロだけど、健康は素人
 - ・QOLをあげていく。未病予防が介護抑制にも繋がる。
 - ・1、健康の見える化 自分の身体を知る。
 - 2、学びの充実 知識やノウハウを学び体験できる場や、からだを整え実践する機会や情報提供。
 - 3、食育の推進 食べる力＝生きる力
 - 4、多様な選択肢 自分にあった健康づくり、官民連携、市民共創
 - ・一例としての（あしゆびプロジェクト）について詳しく説明していただきました。
- 足は全身を支える土台であり、足を正しい状態に整えることは、生涯寝たきりにならず、健康な体を維持するために大切なこと。子どもの頃から足指を鍛えるプログラムを、市をあげて取り組んでいる。
- ・3歳児検診、認定こども園、「運動・スポーツ習慣化促進事業」、介護予防フォーラム、大阪公立大学との連携、小中学校教員対象にした研修会など。
 - ・市長、市議、市の職員も草履で勤務していました。

③食育について

- ・金芽米、天然醸造味噌、天然塩など、市の予算で質のよい給食にしている。
- ・市が直接買い取っている。
- ・牛乳は様々な問題があり減らしている。
- ・完全米飯給食
- ・泉大津は農村地帯ではないため、全国各地と繋がり、給食提携している。日本の食料自給率アップに繋げている。

・給食で取り入れることで何があっても市場を支える。農村と都市部の共存。農業の社会村化、農業法人の安定化。国を支える。

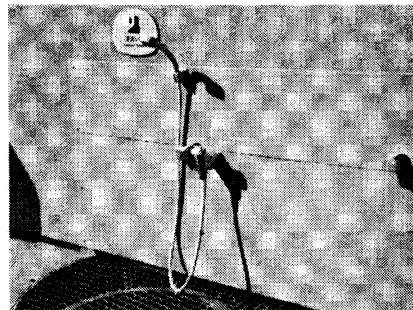
④午後からは、泉大津市の目玉である、シーバスパーク（大型公園）、泉大津市図書館〈シープラ〉を見学しました。

・シーバスパークは大きな公園で、泥んこ遊びができるゾーン、パークセンター、デッキテラス、多目的ルーム、ワークショップスペース、更衣室、シャワールーム、公園内を流れる川（水遊びができる）、週末などのマルシェ、イベント用のキッチンカーなどが備えてありました。

・図書館は、商業施設内にあり、飲食スペースもありとても利用しやすく、夏休み中の子供たちがたくさん訪れていました。

4. 感想

泉大津市は、行政担当職員が適材適所で、健康に関する意識がとても高いため、行政主体で素晴らしい取り組みがなされていると感じました。また、市長が既得権益と関係なく、市民のことを第一に考える人格を持った市長で、その市長を議長はじめ議会も支えている関係性は素晴らしいと感じました。泉大津市は、日本で唯一、国の政策によって苦しめられている市民も守っている市長なので、直接話を聞くことができ、大変学びも深く、今後の活動の意欲向上につながりました。視察によって学んだことを、少しでも生かしていけるように、頑張っていきたいと思います。



シーバスパーク